

2021年3月24日

凸版印刷株式会社

印刷博物館 P&P ギャラリー企画展

『グラフィックトライアル 2020 -Baton-』開催

～グラフィックの可能性を印刷で探るポスター展～

[会期] 2021年4月24日(土)～8月1日(日)

[参加クリエイター] 佐藤 卓/野老朝雄/アロン・ニエ/上西祐理/市川知宏

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴)が運営する、印刷博物館 P&P ギャラリーでは、4月24日より「グラフィックトライアル 2020 -Baton-」を開催いたします。

(当企画は昨年に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を1年延期しておりました。)

グラフィックデザインと印刷技術のコラボレーションによって毎年新しい印刷表現のポスターを生み出してきた当企画は、今回で15回目を迎えました。制作テーマは「Baton」です。リレーのように、「印刷の可能性」というバトンをつなぐため、佐藤卓氏、野老朝雄氏、アロン・ニエ氏、上西祐理氏、市川知宏氏という、印刷に精通した5名のクリエイターと印刷のプロフェッショナルがゴールに向かって疾走しました。

展覧会では、クリエイターの独創的なアイデアと印刷技術を組み合わせて完成させたポスターと、制作過程での数々のトライアルをご紹介します。

開催概要

タイトル	グラフィックトライアル 2020 -Baton-
会期	2021年4月24日(土)～8月1日(日)
時間	10:00～18:00
休館日	毎週月曜日(ただし5月3日は開館)、5月6日(木)
会場	印刷博物館 P&P ギャラリー (文京区水道1-3-3 トッパン小石川ビル)
入場料	無料 ※印刷博物館展示室にご入場の際は入場料が必要です ※事前入館予約を実施しております。
主催	凸版印刷株式会社 印刷博物館
企画	凸版印刷株式会社 トッパンアイデアセンター
後援	公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA)

展覧会 WEB サイト <https://www.toppan.co.jp/biz/gainfo/graphictrial/2020/>

公式 twitter @graphictrial

公式 instagram @graphictrial

※P&P ギャラリー、印刷博物館では入館の事前予約を実施しております。

ご不便をおかけいたしますが何卒ご了承ください。

事前予約サイト: <https://www.printing-museum.org/reservation/>

※本展および関連イベントにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止もしくは延期など変更になる可能性があります。なお、開館する場合でも入場制限の措置を講じさせていただきます。

詳細概要

グラフィックトライアルとは

トップクリエイターと凸版印刷が協力して新しい印刷表現を探る企画展です。色数、用紙、インキ等に制限をつけず、究極の色再現やリアルな質感再現を印刷技術の力で最大限に引き出すことで、印刷が持つ豊かな表現の可能性を追求します。展覧会ではポスター作品と実験プロセスを展示、印刷の魅力をわかりやすくお伝えします。

グラフィックトライアル 2020 のみどころ

①ポスターの枠を超えた新しいポスターの形

5点のポスターがバトンを渡すように、グラフィックがそれぞれの枠を飛び出した、いまだかつてないポスターが誕生しました。メディアの多様化が進む現代で、新たなグラフィックポスターのあり方を提示します。(アロン・ニエ氏作品より)



②時間の経過とともに「変わる」ポスター

印刷物は紫外線に長時間さらされると色調が変化します。その現象に着目し、時の経過による変化を楽しむポスターにトライしました。会期中に展示替えを複数回行い、ポスターの色調が変化していくさまをお楽しみいただけます。(野老朝雄氏作品より)

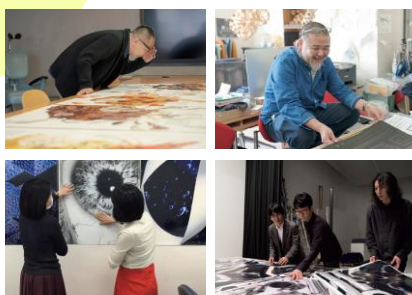


③音声ガイド初導入！ナレーター祖父江慎氏

グラフィックトライアル初の音声ガイドでは、ナレーターに人気ブックデザイナー・祖父江慎氏を起用。全クリエイターの印刷実験の魅力をわかりやすく楽しく解説します。



音声ガイド：祖父江慎氏



※会場ではクリエイター制作インタビューもお楽しみいただけます。

④バーチャルギャラリーオープン！

感染症拡大防止の観点から、オンラインでも多くの方にギャラリーの雰囲気をお楽しみいただけるように、すべての展示作品がご覧いただけるバーチャルギャラリーを開設します。ご期待ください！



※詳細は展覧会WEBサイトをご覧ください。

関連イベント

トークイベント

佐藤卓氏＋野老朝雄氏／5月17日（月）時間未定／オンライン開催／事前予約制・先着順

このほか、様々な関連イベントを企画しております。

詳細・お申込みは展覧会 WEB サイトでご確認ください。
<https://www.toppan.co.jp/biz/gainfo/graphictrial/2020/>



佐藤 卓 Taku Satoh

株式会社 TSDO / グラフィックデザイナー

1979年東京藝術大学デザイン科卒業、81年同大学院修了。株式会社電通を経て、84年独立。株式会社 TSDO 代表。商品パッケージやポスターなどのグラフィックデザインの他、商品や施設のブランディング、企業の CI 等を中心に活動。代表作に「ロッテキシリトールガム」「明治おいしい牛乳」パッケージデザイン、「PLEATS PLEASE ISSEY MIYAKE」グラフィックデザイン、「金沢 21 世紀美術館」「国立科学博物館」シンボルマークデザインなど。また、NHK E テレ「にほんごであそぼ」アートディレクター、「デザインあ」総合指導、21_21 DESIGN SIGHT 館長を務め、展覧会も企画。著書に『塑する思考』（新潮社）など。



野老朝雄 Asao Tokolo

TOKOLOCOM / 美術家

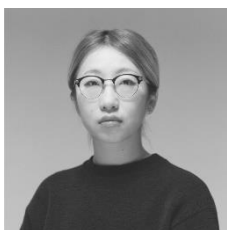
幼少時より建築を学び、江頭慎に師事。2001年9月11日より「繋げる事」をテーマに紋様の制作を始め、美術、建築、デザインの境界領域で活動が続ける。単純な幾何学原理に基づいて定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作や、同様の原理を応用した立体物の設計/制作も行なっている。主な作品に、大名古屋ビルディング下層部ファサードガラスパターン、東京 2020 オリンピック・パラリンピックエンブレム、大手町パークビルディングのための屋外彫刻作品などがある。



アーロン・ニエ Aaron Nieh

AARON NIEH WORKSHOP / アートディレクター

1977年台湾生まれ。台北を拠点に活動。台湾で初めて AGI メンバーとなった（2012）グラフィックデザイナー。彼の表現は細部にわたり微妙なところまで作りこまれている一方、視覚的には非常に刺激的かつ野心的で、斬新な想像力に満ちており、台湾のポップミュージック界、そして出版や舞台芸術の領域に新風景を吹き込んでいる。年間ベストブックデザインを複数回受賞、ゴールデンメロディアワード台湾のベストアルバムデザイン、レッドドットデザイン賞、ドイツ iF デザイン賞受賞。



上西祐理 Yuri Uenishi

株式会社 電通 / アートディレクター、デザイナー

1987年生まれ。東京都出身。2010年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業、同年電通入社。ポスター、ロゴ、パッケージなど単体の仕事から、総合的なブランディングやキャンペーンなど仕事は多岐にわたる。主な受賞歴として、東京 ADC 賞、JAGDA 新人賞、JAGDA 賞、富山ポスタートリエナーレ銀賞、NYADC 金賞、D&AD 金賞、ONESHOW 銀賞、CANNES LIONS 金賞、CANNES YOUNG LIONS 金賞など。



市川知宏 Tomohiro Ichikawa

凸版印刷株式会社 / フォトグラファー

1971年東京生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒。凸版印刷株式会社クリエイティブ本部ビジュアルクリエイティブ部所属。ポスター・カレンダー、メーカープロダクト、文化財アーカイブ等の撮影を手がける。動画ではマルチディスプレイ用映像制作を行う。撮影以外に自動車・住設等の 3DCG ディレクターをこなす。全国カレンダー展、gregor international calendar Photo Calendar Award 受賞。